

モニタリング調査結果

種名 : アズマイチゲ

調査者 : N P O 法人境川の斜面緑地を守る会

調査地 : 上鶴間

調査期間	気づいたこと
2018年1月 ～2018年4月	今年は開花時期が早いかわかれたが、平年並みだった。調査区では49個の開花があり、昨年と同水準。南東方向に新に飛地的な生育地③が増え、それぞれの飛地生育地の開花数は①5個、②8個、③4個だった。栄養繁殖だけでなく種子でも分布を広げていることが分かる。
2019年1月 ～2019年4月	暖冬だったが極端な少雨のためか開花は遅かった。調査区では開花数49個で昨年と同水準だったが、群生全体では開花数がかなり少なかった。また群生が東側に移動している。飛地生育地の開花数は①4個、②4個、③1個と昨年より少なかった。
2020年1月 ～2020年4月	1月上旬に開花。寒い中で開花した個体は1ヶ月以上花弁を散らさずに咲き続けた。開花数は調査区で62個と昨年より多い。飛地生育地の開花数は①2個、②0個、③1個と少なかったが、③では葉の数が大幅に増えている。初めて全開花数（蕾および咲き終わった花は除く）をカウントしたところ750個ほどで、総開花数は1000を超えているものと思われる。
2021年1月 ～2021年4月	2月上旬に開花。満開は3月の頭。調査区の開花数は166個と急増した。樹木の伐採で日照が改善したためと思われる。飛び地の開花数は、①0個、②2個、③0個で、3地点とも芳しくない。飛び地③は昨年葉が増加し、今年の開花を期待したが開花は見られなかった。
2022年1月 ～2022年4月	昨年 12/12 に早々と 1 個開花。2/12 に 1 個咲き始め、2/16 に 5 個。調査地アブラチャン下、一昨年 66 個、昨年 166 個、今年 20 個。飛地の開花数は①平坦地 2 個、②河標 1 個、③その奥 0 個。総数は 3 月 12 日に 135 個だった。開花数は例年の 20%～30% と極端に少ない。
2023年1月 ～2023年4月	2/4→1 個。2/16→5 個、2/19→45 個。調査区根元総数33。飛地①平坦地 1、②河標 0 ③奥 3。総数 3/6 約 200。2/20～26 寒気で開花の進みは遅かった。3 月 6 日から 4 日連続 20 度超えで花が弱り、緑の葉があまり出ず花が終了。
2024年1月 ～2024年4月	2/1 蕾5、2/11 (11℃3分開き) 5、2/15 (17℃)17、2/20 (23℃) 62、調査区 根元36、飛地 ①7 (結実4) ②0 ③1 総数 85 (3/1) 3/4葉が緑に、茎伸びる。3/11以後終盤、3/16迄花あり。 総数激減。飛地①のみ増加。生育地での減少が続くのは飽和状態なのでは？気温が高く咲き進むのが早かったが、2月下旬の寒気と雨で休止。3月半ばまでもつ。葉が発生した場所を大事にする。